

令和2年12月23日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

長 島 公 之



救急の日に関するアンケート調査 2020 の結果について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本会では、本年度（令和2年度）以降、「救急蘇生法の指針」の改訂を見据えた救急蘇生法の普及啓発の充実策を検討するため、令和2年6月30日付け（地 184F）等において、都道府県医師会、郡市区医師会および地区医師会を対象としたアンケート調査を実施させていただきました。

ご多忙の折、本調査にご協力いただきまして心より御礼申し上げますとともに、この度、別添の通り本調査の結果がまとまりましたのでご連絡いたします。

なお、本調査の結果につきましては、本会のホームページの「災害医療対策について」に掲載しておりますので、下記URLよりご参照頂ければ幸いです。

つきましては、貴会におかれましても、貴会管下郡市区医師会への周知方につき、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

◇災害医療対策について

http://www.med.or.jp/doctor/sien/s_sien/002049.html

救急の日に関する アンケート調査2020'

2020年12月18日

公益社団法人 日本医師会

救急の日に関する アンケート調査2020'

- 趣旨・目的

日本医師会において、本年度（令和2年度）以降、「救急蘇生法の指針」の改訂を見据えた救急蘇生法の普及啓発の充実策を検討する際の参考資料とすることを目的として実施

- 期間

2020年6月30日～2020年7月17日

- 対象

都道府県医師会、郡市区医師会、地区医師会

- 集計上の留意事項

- 医師会の区分等、日本医師会事務局において確認可能な事項は修正
- 同一の医師会からの回答は、最終回答を採用し、多は削除
- 郡市区医師会（東京都23区、大阪府と京都府の場合は区医師会）と地区医師会（●●市●●区医師会、郡市区医師会内にある医師会など）は、混同した例が多数あったため、合わせて集計

救急の日に関する アンケート調査2020'

は 郡
解 市
答 区
の 医
混 師
在 会
に と
よ 地
り、 区
合 医
算 師
会

	回答数
1.都道府県医師会	45
2.郡市区医師会（東京都23区、大阪府と京都府の場合は区医師会）	682
3.地区医師会（●●市●●区医師会、郡市区医師会内にある医師会など）	
4.大学医師会・病院医師会・県庁医師会等	31
総計	758

Q0-1 貴会における初期救急医療体制について教えてください。

	回答数	割合
1.在宅当番医制	205	27.0%
2.休日夜間急患センター（休日夜間診療所） ※休日・夜間のいずれか、医師派遣の場合も含む Q0-2へ	232	30.6%
3.在宅当番医制・休日夜間急患センターの双方 （センターに医師を派遣する場合含む） Q0-2へ	165	21.8%
4.その他	47	6.2%
5.初期救急医療体制は講じていない/他の医師会が実施している	64	8.4%
(空白)	45	5.9%
総計	758	100.0%

Q0-2 休日夜間急患センターの設置場所について教えてください。

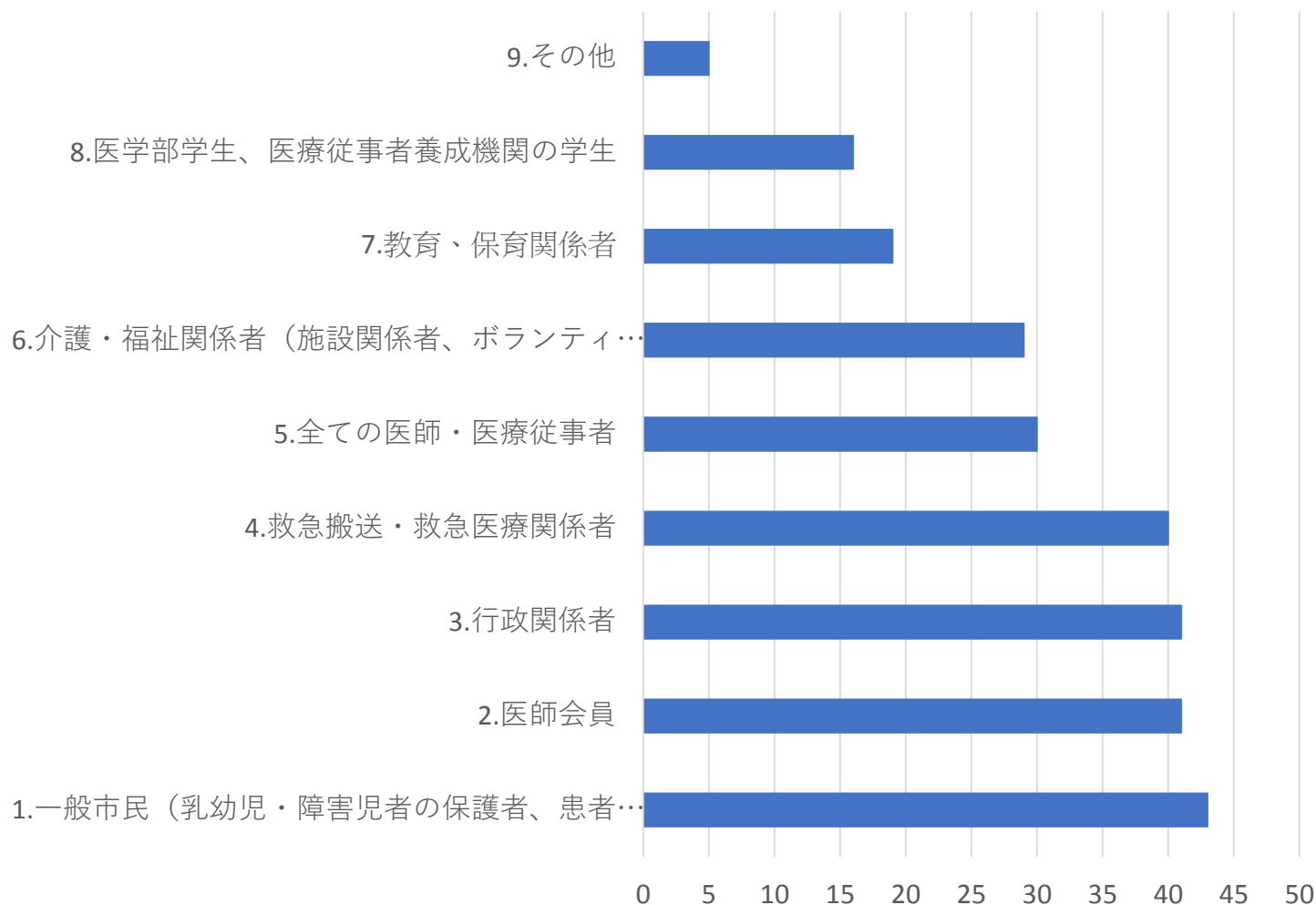
	回答数	割合
1.医師会館に設置	3	0.8%
1.医師会館に設置・併設	71	17.9%
2.市立病院等の拠点的な医療機関内に設置	70	17.6%
3.2以外の公的施設（市役所等）	176	44.3%
4.その他	72	18.1%
(空白)	5	1.3%
総計	397	100.0%

Q1 貴会では、直近1年間に「救急の日」（9月9日）または「救急医療週間」（9月9日を含む一週間）について、救急蘇生法の普及に関するイベントを開催していますか？（イベントが複数ある場合は、もっとも参加者数が多いイベントをお答えください）

	回答数	割合
1.主催した	104	13.7%
2.他の医師会、行政や関係団体と共催した	98	12.9%
3.他の医師会、行政や関係団体の主催イベントに参与した（後援・協賛を含む）	59	7.8%
4.開催していない（Q5に進む）	497	65.6%
(空白)		0.0%
総計	758	100.0%

Q2-1 開催した「救急の日・救急医療週間」のイベントは、主として、どのような方々を対象としますか？（複数回答）

N = 264



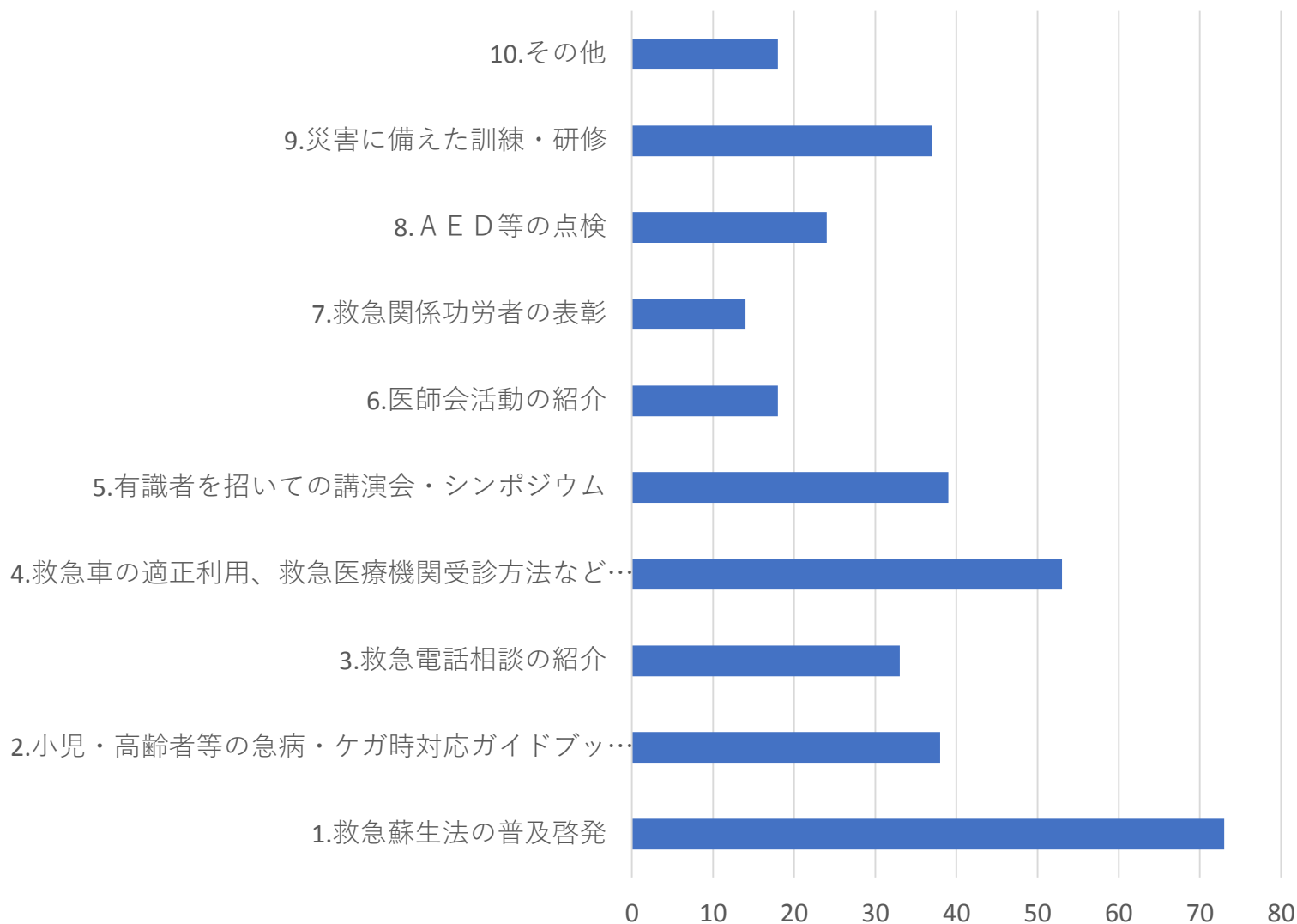
Q2-2 「救急の日・救急医療週間」のイベントで集まる方は何人くらいですか？（複数日で開催された場合は延べ数）

	回答数	割合
1.50名未満	74	28.4%
2.100名未満	80	30.7%
3.500名未満	67	25.7%
4.1000名未満	15	5.7%
5.1000名以上	10	3.8%
6.不明	15	5.7%
(空白)		0.0%
総計	261	100.0%

※Q1で「イベントを開催していない」と回答した医師会を対象

Q2-3 「救急の日・救急医療週間」のイベントは、どのような内容ですか？（複数回答）

N = 347



Q3 今後「救急の日・救急医療週間」を盛り上げていくため、参加者増に効果的なものはなんですか？（血圧測定など関連イベントその他、参考となるアイデア、実践例を教えてください）

- ・ 血圧測定、骨密度測定、血糖値などの健康相談
- ・ 救急蘇生法やAEDの実技訓練、講習会などの開催
- ・ 小中学校、高校等へ出向いての講習会と受講証の配布
- ・ 救急隊員のデモンストレーション
- ・ 消防車、救急車やドクターヘリなどの展示・乗車体験
- ・ 行政、保健所、教育委員会、漁協・農協などへの広報
- ・ 共催により関係者を増やす
- ・ 啓発グッズや記念品の配布
- ・ SNS、ケーブルTV、タウン誌、自治体の広報誌、街頭のティッシュ配りなどでの広報活動
- ・ 一般の方の興味のある内容での講演会の開催

Q4 今後「救急の日・救急医療週間」を盛り上げていくためには何が必要ですか（複数ある場合は、もっとも効果的と思うもの）

	回答数
1.冊子、パンフレット	77
2.サービス品・粗品	58
3.WEBでの周知・告知その他	35
4.必要なものはない	8
その他	25

「その他」の内容
AED・トレーニングシステム・同指導者、マネキン、インストラクターへの支援 ポイント付加の導入、参加者への健康関連ポイントの付与。
WEBだけでなく行政などからの周知（行政が発行している広報誌への掲載、地域住民への呼びかけ）。メディアへの日頃からのアナウンス
こどもも欲しいと思う物品（例：救急車のペンスタンド）
簡易な体験コーナー設置
関係機関との事前打合せ
行政、市民との対話、協力
高齢者が多いので交通の便がよい会場、新聞チラシ、回覧板などのアナログな周知方法
祭りとのタイアップ
受講証書の印刷
予算の確保

Q5 「救急の日・救急医療週間」についてイベントを開催しない理由を教えてください。

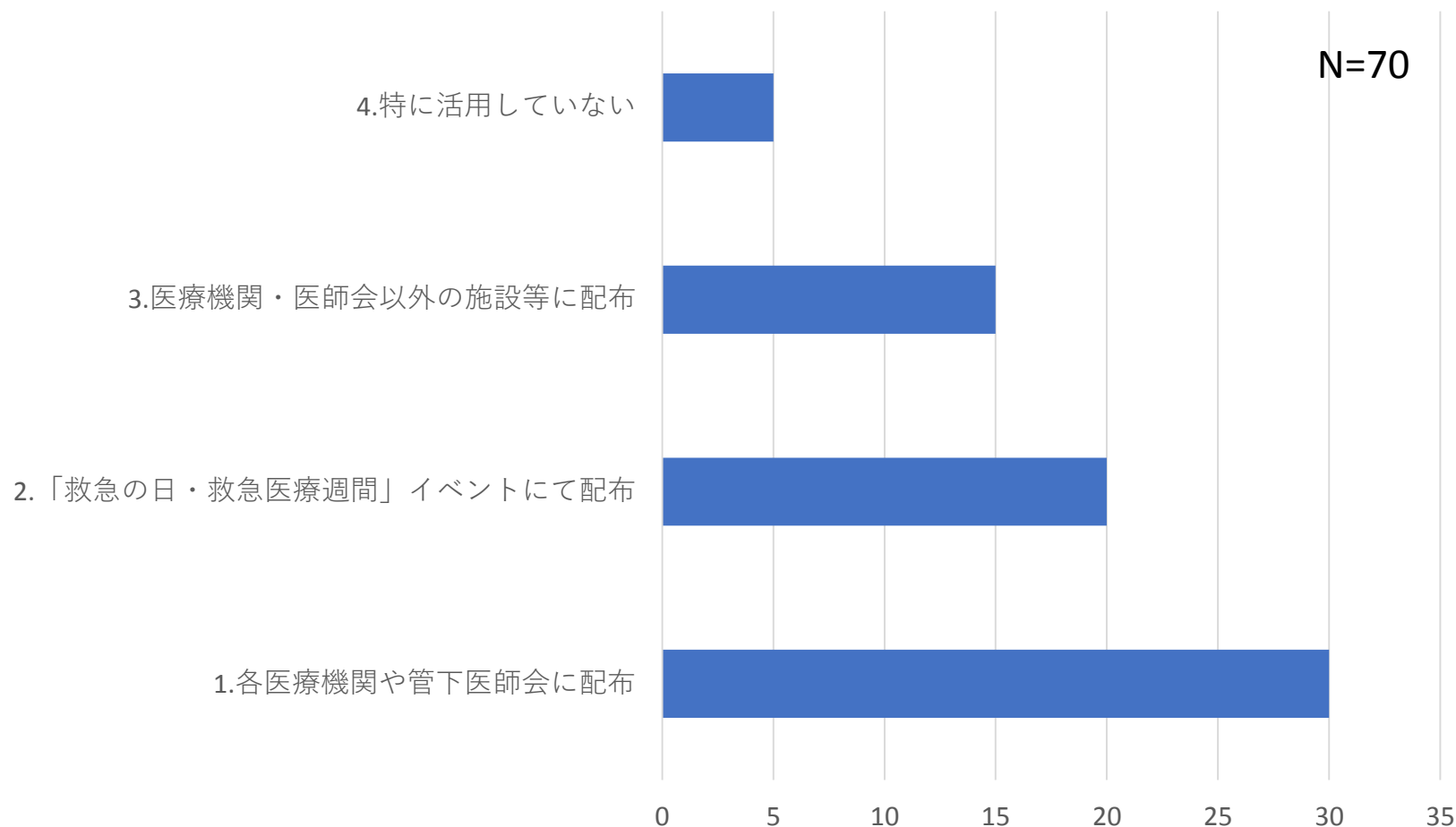
	回答数
1.今まで開催していないから	217
2.他の医師会が実施するから（例：都道府県医師会の場合は管下の郡市区医師会、郡市区医師会の場合は都道府県医師会や近隣の郡市区医師会など）	50
3.行政や関係団体が実施するから	122
3医師会で輪番制で実施。直近一年間は担当ではなかった	1
4.サポートがないから	15
その他	82

Q6 どのようなことがあれば、積極的にイベントを開催しますか？

- 行政や県医師会からの協力・共催要請
- 行政、地元の消防署などの関係者との連携
- 開催費用やマンパワーの補助
- 開催マニュアルや周知パンフレットなどの資材
- 医師会員の増加（医師会の規模）
- 住民からのニーズ

医師会の規模が小さく、職員などのマンパワーや経費等に余裕がないことから、行政等の依頼に基づく補助やサポートが無いと、開催が困難という回答が多かった。

Q7 日本医師会から毎年配布されている「CABDカード」「救急の日」ポスターを、どのようにご利用いただいていますか？（複数回答）



Q8 全国の医師会にとって参考となるCABDカードやポスターの活用方法がありましたら、教えてください。（実践している例でも、アイデアでも構いません）

- 人の集まる場所に掲示（イベント会場、駅、道の駅、公共機関、コンビニ、スポーツ施設、路線バス、観光バス、**AED**設置場所 等）
- 街頭で一般市民に配布
- 教育機関や企業に配布
- 市の広報誌と一緒に配布
- 自動車免許更新時、小中高大学への入学時、乳幼児健診時などのタイミングで配布
- 電子カルテモニターの前に置くなど有事の際に確認しやすい場所に置いておく
- より簡素化や漫画化をして子供にも見やすくする
- 二次元コードなどをつける
- 音声ガイダンスのついたアプリや動画を作成する

Q9 日本医師会では、「救急蘇生法」サイト
(<http://www.med.or.jp/99/>) を開設していますが、貴会での認知度はいかがでしょうか。

	回答数	割合
1.会員間で認知されており、外部への紹介など をしている	6	0.8%
2.ある程度認知されている	161	21.2%
3.あまり認知されていない	189	24.9%
4.ほとんど知られていない	239	31.5%
5.不明	163	21.5%
総計	758	100.0%

Q10 2020年中に新たな心肺蘇生法ガイドライン（国際、日本版）が策定される予定です。CABDカード、救急の日ポスターや救急蘇生法サイトについて、有効活用するためのご提案をお書きください。

- 二次元コードをつける
- スマートフォンのアプリ版を作成する
- サイトデザインの工夫、有名人・アスリートの活用
- 大人向け、子供向けでデザインを分ける
- 外国語版の作成
- テレビ、動画サイト、SNS等のメディアを活用した宣伝
- 学会での宣伝
- もっと行政や地域医師会のHPにサイトのリンクを張る
- オリンピック・パラリンピックの救護所スタッフへの配布、競技会場への設置
- サイトのリンク充実（ガイドライン、AEDマップ）
- e-learningで救急蘇生法の講習会を行って修了証を配布する
- 紙や情報を配布するだけでなく、実践の場をできる限り作る